

令和6年2月21日

食料科学委員会 畜産学分科会（第26期・第1回）議事録要旨

1. 日 時 令和6年2月21日（水）16：30～18：15
2. 場 所 ビデオ会議
3. 出 席 木村直子（二部会員）、栗田浩、内尾こずえ、笠嶋快周、
後藤貴文、新村毅、平井静、松田二子、宮本庸平、安尾しのぶ、
山下恭広（連携会員）
4. 議事
 - (1) 定足数の確認：11名が出席し、分科会は成立した。委員長選出までの進行は、世話役の木村直子会員の進行で行い、各委員より自己紹介を頂いた。
 - (2) 協議事項
 - A. 分科会委員長、副委員長、幹事の選出
日本学術会議の運営に関する内規第17条に従い、互選により委員長に木村直子委員が選出され、了承された。その後木村委員長より、副委員長に栗田浩委員、幹事に後藤貴文委員、笠嶋快周委員、安尾しのぶ委員が提案され、了承された。以降、本会議の進行は、木村委員長が務めた。
 - B. 連携会員（特任）の推薦
木村委員長より、現畜産学分科会委員の専門領域、所属機関、所属学協会などのバランスを勘案し、日本獣医生命科学大学（教授）の小澤壮行先生を連携会員（特任）として推薦することが提案され、了承された。
 - C. 第26期畜産学分科会の活動について
木村委員長より、1）分科会が主催となる公開シンポジウムの要件や手続きの流れ、2）第25期畜産学分科会主催の公開シンポジウム内容、3）意志の表出までの流れ、4）第25期以前の畜産学分科会より発出され意志の表出内容などについて、説明があった。
それらを踏まえ、第26期畜産学分科会からの国民に向けた情報発信を積極的に行っていくことを確認し、今後の公開シンポジウム開催予定や計画について、情報共有と意見交換がなされた。
公益社団法人日本繁殖生物学会との共催の公開セミナー「動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの!？」（令和6年5月11日開催予定）について、木村委員長より提案され、趣意書は後日メール審議を行うことで了承された（令和6年3月12日～20日にメール審議の上、了承）。
 - (3) 報告事項
 - A. 第26期総会、二部会、委員会の審議事項などについて
直近では、日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会で出された中間報告「日本学術会議の法人化に向けて」（令和5年12月22日公表）を受け、令和6年2月17日に幹部より会員への説明会が開催され、その説明会の内容について、後日、連携会員にも情報共有される旨の情報共有がなされた。（令和6年2月25日に配信された追加資料内）。
 - B. 第25期の畜産学分科会の活動内容について

第25期の分科会の開催状況、公開シンポジウムの開催状況、第25期以前の意志の表出状況について、資料に基づき説明がなされた。

C. 今後の公開シンポジウムの開催について

木村委員長より、日本畜産学会第132回大会（令和6年9月16～20日、京都大学）における公開シンポジウムの共催は、日程上難しいことが報告され、今後の公開シンポジウムの開催について、随時、協議していくことが確認された。

（4）その他

第2回畜産学分科会を5月下旬あたりに予定しており、後日日程調整を行うことが確認された。

配信資料

2月20日事前配信：

0. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第1回）議事次第
1. 食料科学委員会畜産学分科会委員名簿
2. 資料1-特任連携会員の推薦
3. 資料2-第25期第8回議事録要旨（案）
4. 資料3-公開シンポジウム主催要件
5. 資料4-意志の表出等の作成手続
6. 資料5-1 第26期設置提案書
7. 資料5-2 第26期設置提案書補足説明
8. 資料6-1 公開シンポ2022年「グリーンデジタルによる食肉生産」
9. 資料6-2 公開シンポ2022年「持続的な畜産経営を目指したスマート技術の今後の展望」
10. 資料6-3 公開シンポ2023年「豊かな食と畜産の未来に向けて」

その他：

- ・参考資料・2010年・記録・畜産物のはたす役割（食肉、乳、卵、蜂蜜）
- ・参考資料・2015年・報告・大学教育の分野別質保証・大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準・農学分野
- ・参考資料・2017年・報告・畜産学の特性に配慮した教育・研究課題・一飼育動物の安定的利活用を目指して

2月25日事後配信：

11. 後日追加資料：委員長選出ほか規程
12. 後日追加資料：シンポジウム提案書（見本）
13. 後日追加資料：シンポジウム提案書（様式）
14. 後日追加資料：第1回分科会説明スライド
15. 後日追加資料：会議の記録 audio1490862908

本分科会の開催にあたって、日本学術会議事務局第二部担当、増田能伸さんが陪席された。

以上